

市民参加の方法 実施結果票

市民参加の概要	(仮称) 茅ヶ崎公園体験学習施設建設に関する説明会（「茅ヶ崎市のまちづくりにおける手続及び基準等に関する条例」に準ずる説明会）		
実施年月日	平成28年11月13・15日	実施回数	2回
対象者	同条例における近隣住民	参加者実数	5名
I 述べられた意見、又は提出された提案等の概要			
<ol style="list-style-type: none"> 1 建設工事に関しては、説明どおりで問題ないのではないか。 2 本施設の北側に10台の駐車場を設置しているが、高砂通り沿いに入庫待ちの列ができるのではないかと懸念している。 3 本施設の北東側に80台程度の駐輪場が設けられるが、子育て世代が集まる西側（しおさい広場側）には設置しないのか。 4 現況、茅ヶ崎公園庭球場及びしおさい広場の北東側は大雨時に冠水（水たまりが発生）しているが、どのような対応をしているか。 5 現在、高砂通り沿いの土手が砂地であることから、晴天時を中心に砂埃が飛んでいる。体験学習施設建設時には、水を撒けるように散水栓を設けてほしい。 			
II Iに対する市長等の考え方			
<ol style="list-style-type: none"> 1 建設工事に際しては近隣住民の皆様には御心配お掛けすることを踏まえ、本市としては建設工事に係る諸事項を現時点で御説明するとともに、施工者が決定しましたら改めて情報提供させていただき姿勢を進めています。 2 同駐車場については、障害をお持ちの方や一時的に荷物を積み下しをする方の駐車場として考えており、一般の方については茅ヶ崎公園第一・第二駐車場を利用させていただき方向で考えています。 3 本施設の西側には駐輪場は設置しません。ただし、しおさい広場に多くの子ども、保護者が集まっている状況は把握していることから、安全面も踏まえ、本施設の開館に向けて公園管理者とともに駐輪のルールづくりや周知ができるよう検討します。 4-(1) 体験学習施設建設予定地（現茅ヶ崎公園庭球場） これまで大雨時には茅ヶ崎公園内すべての雨水が茅ヶ崎公園庭球場に流入しており、そこに設置されているコンクリート製の貯留槽（100t）がオーバーフローすることで冠水していました。このことを踏まえ、公園内に降った雨を分散させるため、市の基準に則り、新茅ヶ崎公園庭球場に約650t、体験学習施設に約350tの浸透性貯留槽を設置することで処理能力を格段に向上させます。 4-(2) しおさい広場北東側 地形上窪みがあり、水たまりが発生しています。これを踏まえ、同所に20cm程度のU字溝を設置し、体験学習施設に設置される約350tの浸透貯留槽に流入させることで水たまりを解消します。 5 体験学習施設東側（高砂通り側）に水撒きができる水栓を3か所程度設置します。また、2階に設置される屋上緑化については、地下水を利用した自動灌水により飛砂を防止します。 			
その他特記事項			

注) 必要に応じて枠を拡げて入力してください。